

初日の出



2025年1月1日(水) 晴れ

2025年元旦、よく晴れて、初日の出もしっかり望めた。年末晦日に大阪城公園梅林へ行ってみた。『蠟梅』は咲き始めていたが、『冬至』はまだだった。旧暦の元旦は今月29日、その頃には梅だより。

— 無理なく —

今年は旧暦では閏6月がある。通常の旧暦6月が終わって、また6月が始まる。新暦の7月25日から8月22日まで。日本でも昔はアパレル業界では旧暦を参考に生産計画を立てるといわれたが、今はどうだろう。

6月が2回もあると、そうでなくても長い夏になってきたから、厳しい暑さとの延長戦を予測。考えるだけでも気がとおくなりそうだが、とにかく、構えと備えが大事。

新年が始まったばかりだけど、5月末までが一つの勝負どきと個人的には心得ている。〈余計なこと〉にもカラダが動きやすい、季節的に。梅雨から夏の間の停滞もやむなしと考えることにした。その方が健康的。

ともあれ、無理なく動けるときに動いて、メリハリつけて、日々をおくっていきましょう、おたがいに。

2025年1月2日（木）

新年、連日の冬晴れ、大阪城公園梅林へ



年末にもチェックした「冬至」、開花はまだ先



2025年1月6日(月) 雨

元日から昨日まで京阪神は穏やかな天気恵まれた。ずいぶん乾燥していたから雨もよし、小降りだからそう思えるのだろうけど。

— どのようなPAか (3) —

『見える仕事の見えない働き』④ 奉仕すること

「奉仕」をgoo辞書で調べると、一番目の説明は「神仏、主君、師などにつつしんでつかえること」となっている。2番目が「利害を離れて国家や社会などのために尽くすこと」。どちらも崇高すぎる。

英語の「ボランティア」の方が合っているかもしれない。英語では、「誰かこれやってくれない？」と先生が生徒に尋ねる場合などに使ったりする。「志願者」という意味から、自主的に何かの活動や仕事を無償でやることを指す。

『無意識にやって人に喜ばれること、それが本物』(佐藤初女)、この言葉に出会ったのは2014年6月のことだった。事務所をもって20年目の年あたり、自他ともにわかってきた、見えてきた感じが自分なりにしていた頃だった。

無意識に、ごく自然に、まったく負担に感じることもなく、見返りをもとめず無償で自主的に人のために何かをやる、できる。たぶん、それが続いている理由だろうし、何より「パーソナル・アシスタント」という概念を発想できた根本。そんな風な目線をもったのだった。

さて、その自分の目線は正しいだろうか。紐解いてみるとしよう。